

(5面から続く)

資源対策課の車両を取り上げましたが、市営バスを運行されている自治体などではすでに実施されているところもあります。自治体も経営的な感覚での資源確保が求められている今日、アイデアを出し合って動く広告塔的な役割を果たすことができれば、広告料によって車両維持費等の経費削減ができるかと考えますがいかがでしょうか。

消防団員の確保について

京免議員 (政和会)

昨年は、各地で大きな災害が発生し、消防団が被害軽減、住民の安全確保に活躍していることはご承知のことと思います。消防団は地域住民を中心とした組織として今後も幅広い防災力と地域コミュニティとの連携を強化し地域防災体制の中核的存在として役割を担っていく必要があるわけですが、全国的に消防団員数の減少が大きな課題になっています。

市長 有料広告については、過去にも質問を受け公共団体としての広告の難しさから熟慮に達していないという回答をさせていただいた経過がございますが、その後、地方分権の進展等を踏まえて行政改革に取り組んでいく中で、自主財源確保のためのひとつの方策として必要性を感じています。広告媒体として活用が可能なものについては有料広告をお願いして自主財源の確保することに努めていくよう検討していきたいと思っております。

伊澤議員 (市政クラブ) 教育問題について 学校のトイレは、業者への清掃委託が年一回にとどまっているため、くさい、汚い、暗い、いわゆる三Kと呼ばれるのですが、学校トイレや公衆トイレを清潔かつ衛生的に管理するために、画期的な科学的な方法が開発されました。それは、便器等に酸化チタンをコーティングした上で、紫外線ランプの光を当てると、いわゆる光触媒のメカニズムを利用した方法です。この方法は、殺菌能力が高く大腸菌の数も大幅に減少させることができるほか、ウイルス分解にも効果的で窒素酸化物も除去します。環境に負荷をかける大変なすぐれものと言われており急速に普及するものと期待されていますが、導入についてのお考えをお示しいただきたい。

学校を清潔に 光触媒でトイレ

教育長 県の人事評価システムは、目標管理手法と複数評価者による五段階絶対評価を導入しており一定の信頼が持てるものと考えます。本市としても人事評価事務には最善を尽くしてまいります。

市債償還の負担増、扶助費等義務的経費の増加など厳しい財政運営が続く中、五項目の重点目標を掲げ、多様化する市民ニーズに対し積極的に取り組む姿勢がうかがえます。より一層の自主財源の確保と、財政基盤の強化、効率的な財政運営の構築を望みます。

市債 消防団、いわゆる自治消防の必要性と位置付けをそれぞれの地区でしっかりと

スポーツ施設の整備・充実を

伊田議員 (政和会)

本市の厳しい財政状況や西部地域整備構想が見直されたことも踏まえた上でお聞きいたします。本市における総合運動公園整備計画の進捗状況はどうなっているのか。現状では、総合運動公園について

次に、スポーツ施設予約システムの登録に関して、疑問を持たれている方がいらつしやいます。登録要件については遵守されているのでしょうか。また、キャンセルが出た場合の利用問題について、今後のシステム改善、改良点に

生涯学習部長 予約システムについてのお考えをお聞かせください。

生涯学習部長 予約システムについてのお考えをお聞かせください。

討論

討論は、三月二十五日に六名の議員により行われました。この中では、一般会計を中心に各議員から賛否の意見表明がされるとともに、今後の市政に生かすべき点が指摘されました。要旨は次のとおりです。(誌面の都合上、一部掲載)

少人数級の取りやめは問題

中澤議員 (日本共産党) その要旨を述べます。平成十七年度一般会計予算 米陸軍司令部のキャンプ座間への移転が、米政府の唯一に反対の立場を明らかにし、

小野議員 (公明党) 公明党を代表いたしまして、提案されております諸議案に対し、賛成の立場から討論を行ってまいります。

市債償還の負担増、扶助費等義務的経費の増加など厳しい財政運営が続く中、五項目の重点目標を掲げ、多様化する市民ニーズに対し積極的に取り組む姿勢がうかがえます。より一層の自主財源の確保と、財政基盤の強化、効率的な財政運営の構築を望みます。

財政難の予算編成を評価

池田議員 (市政クラブ)

今定例会に提案されております議案第一号から議案第三十一号までの全議案の審議にあたり、厳しい社会経済背景のもと地方財政の健全化を指し、県や国に声を上げていくとともに、市民の期待に

の一貫した要求である以上、基地返還を求める立場から妥協を許さない敢然とした反対の対応が必要である。したがって、日米親善益踊り共催事業予算の計上は、問題である。航空機騒音の測定器が昨年九月相模野小学校に国が設置しているのに、議会も含め全く公表されず、これまでも国は測定したデータを公開してきていないが、問題である。公立保育園の施設整備費を保育園の統廃合計画が具体化するまで実質的な予算計上を

竹市議員 (市民連合) 二〇〇五年度予算は、露になった地方財政制度の破綻の影響をまともに受けた予算編成と言えてしまう。しかし、そういう厳しい条件下だからこそ、本来あるべき地方自治の独自性を発揮する姿勢を示すべきだったと思えます。市長は国のやり方に「納得しかねる」「こういうことを求めていく」と言いつつ、座間市自らの行動については「国の制度だから」ということに終始し、政治的決断と責任を回避しようとしていると言わざるを得ません。

独立性なく責任回避 老人への配食サービスがアセスにより抑制され、介護保険に予防給付が創設されることで介護給付の抑制がされる状態にあります。全くなき実情に合わない方針だと考えざるを得ませんし、国の制度から漏れるところに対応する独自性の発揮が求められます。国民健康保険条例の「外国人登録を行った者で、入国当初の在留期間が一年以上である者は、被保険者とする」という条文の削除は、明らかに後退と言わざるを得ません。国の指導がとも思いますが、日頃から地域の外国人の方々や国際交流だと言っているのであれば、簡単に切り捨てる姿勢は理解できません。

度予算編成等を評価し、賛成の立場から要望・意見を交え、討論を行います。具体的には、①庁用車売却収入の補正増額は、廃車車両とはいえず市有財産に対する認識が高まり、努力の成果と評価します。②用務員業務委託は、学校の安全確保等不安の声が上がっている。市民に対する説明責任を果たしている

(7面に続く)